

南喜一 みなぎいち 実業家。明治二十六年二月十九日石川縣金澤生れ、昭和四十五年一月二十日没（八九三一九七〇）。早稲田大學法商科卒。工場を経営。關東大震災時、弟が警察と殺され社會主義運動に入る。昭和二年日本共産黨に入黨し、翌年二・一五事件（黨員一齊檢束等）後に轉向。十五年水野成夫しみずなりおと大日本再生紙株式會社を創立、二十年國策パルプ工業に合併、二十八年會長。またヤクルト本社會長、日本ガン豫防協會理事り長等らを歴任。

著書「ガマの聖談」人生に関する珍考漫考（昭和四十二年一月十五日光文社「カツパ・ブックス」）等。

